



情報メディアを多面的・多角的に活用して、顧客に寄り添った最適な商品提案を。



印刷・同関連業 株式会社 昭和堂

1951年、諫早美術謄写堂として創業。印刷・出版物はもちろん、確かな技術とクロスメディア能力を駆使した様々な情報発信ツールを企画制作。具体的にはインターネット関連事業、映像制作事業、サインディスプレイ事業、イベント企画運営事業、パッケージ企画制作事業、アクリルスタンドをはじめとしたノベルティグッズの企画制作事業等、多岐にわたって事業を展開している。



事業のテーマ

立体造形・多様材料素材印刷・加工による差別化と非対面型リモート営業体制構築の取り組み

事業のきっかけ

当社では、以下の3つの課題を抱えていた。①立体造形(リポート什器造形)ができない(厚物大面積印刷ができない／高精度・単品カットができない)。②多様材質メディアの印刷・加工ができない(樹脂、金属、木、ガラスなどの様々な材質への印刷、加工ができない)。③コロナ禍で対面営業ができない。これらの課題は他社との差別化を図る上でも解決しなければならず、新たな設備の導入に踏み切った。

事業内容・成果

①の課題を解決するために「フラッドベッドプリンタ」と「レーザー彫刻機」を導入した。これにより厚みのあるメディアへの直接印刷が可能となり、高精度・単品カットも可能となった。②への対応には様々な材質への印刷が可能な「多様材料素材印刷機」を導入。これらの設備により、立体印刷・加工、多材質素材印刷・加工技術が可能となり、他社が追従できない競争優位性を確立する体制が整った。また③に対しては「リモート校正システム」を導入。デザイン提案から校了までの一連のプロセスをリモートで実施可能となった。

今後の展望

顧客が求めるものに対して常に応えられるようにすることはもちろん、独自のノウハウを取り入れた新しい商品づくりにも積極的に取り組んでいきたい。高付加価値を提案することが、さらなる他社との差別化に繋がると考える。

●ものづくり補助金活用

厚物大面積加工
1050mm×750mm×1mm
→ 約1300mm
×2500mm
×50mm

レーザー彫刻機や多様材料素材印刷機の導入もあり、立体造形が可能になった。



株式会社昭和堂
長崎市諫早市長野町1007-2
TEL/0957-22-6000 FAX/0957-22-6690
HP/<https://www.showado.co.jp/>
MAIL/office@showado.co.jp
代表理事／永江正澄
設立／1954年9月14日
資本金／30,000,000円
業種／印刷・同関連業 従業員数／120名